



【大阪】大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構(OCHIS)は17日、大阪弥生会館(大阪市北区)で、「アルコールチェック義務化とメンタルヘルス対策(職場復帰)」をテーマに第8回「安全・健康を推進する協議会(両輪会)」を開催。

## 安全と健康を推進へ

### 両輪会を開催

今回は物流事業者だけでなく近畿運輸局をはじめ、大阪バス協会、バス事業者の担当者も参加し活発に情報交換が交わされた。冒頭で、同協議会代表の作本貞子氏(OCHIS理事)は、4月1日からのアルコールチェック使用義務化に伴う事業者の残酒の対策、教育や運用規程の作成などの様々な課題を挙げた上で「各社で状況が変

### OCHIS

## バス業界からも参加

わるので結論が出るような問題ではないが、このディスカッションの中で参考になるような情報を持ち帰りすぐに活用してほしい。それが両輪会のコンセプト」と、あいさつした。

第一部は、コーディネーターを亀山重一氏(梅田運輸倉庫取締役、安全管理部長)が務め、「アルコールチェック義務化に伴う各社の対応」について、参加者とディスカッションが行われた。残酒による社内教育や宿泊を伴うドライバーの飲酒規程、点呼時にアルコールが検出された場合の対策、アルコールチェックの運用規程・新たな就業規則の作成など、参加各社の取り組みが報告された。

続いて、「メンタルヘルス対策パート3・職場復帰対応と、乗務条件を中心に」と題してディスカッションが行われたほか、情報提供として「大流行が予想される花粉症対策とインペアドパフォーマンスについて」や「両輪会特典」などが報告された。協議会終了後は、情報交流を兼ねて懇親会が開かれた。(山田克明)